


平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム
(2009年12月15日)

学生協働(LiSAプログラム)から学ぶ 学習支援サービスの取り組み



お茶の水女子大学
図書・情報チーム資料管理係
胡内奈都子
(kouchi.natsuko@ocha.ac.jp)

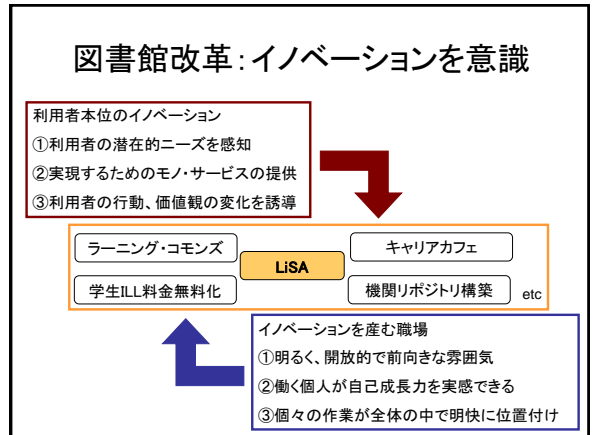
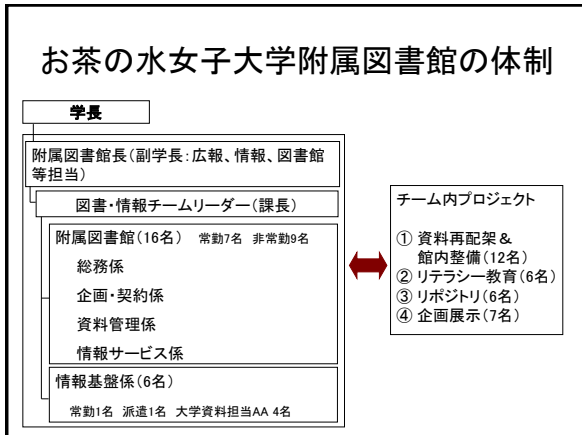
なぜLiSAプログラムなのか？

LiSAは学生の目線を与えてくれる

- ・ 直接対話することで、本当に求めていることが何かわかる。
- ・ 一緒に業務をすることで、利用者が求めていることを再認識できる。
- ・ 学生同士の会話でとどまっていた声を聞くことができる。

↓

サービスへの転換・実施



LiSAの概要 1

LiSA = **L**ibrary **S**tudent **A**ssistant

目的: 学習支援、キャリア意識形成、
(職員のルーティン業務軽減)

募集広報: 図書館HP、ポスター、メール

	期間	参加人数
第1期	2007.11.12~2008.3.14	13名
第2期	2008.4.21~2008.10.3	10名(うち、継続6名)
第3期	2008.11.4~2009.3.13	13名(うち、継続5名)
第4期	2009.4.20~2009.9.30	20名(うち、継続8名)
第5期	2009.10.13~2009.3.12	32名(うち、継続13名)

LiSAの概要 2

業務内容: 装備、書架整理、カウンター、データ入力、学科図書室の蔵書点検、除却処理、キャリアカフェ文庫選書etc

その他: 前月に「業務計画書」を提出
期間終了後に「業務報告書」を提出
大学からは、学長&館長連名の「参加証明書」を発行。

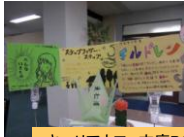
LiSAの概要 3



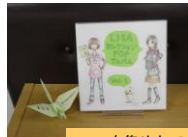
図書装備中



データ入力中



キャリアカフェ文庫POP



POPを集めたアルバム

応募動機の変化

「図書館」が好き

「本」が好き

は不変ながら...

おもしろい経験が
できそうな期待感!!

・活気ある雰囲気が好き。

・進化する図書館を学外の友人に勝手に自慢していたので、自分もその参加者になりたい。

・ブログを読んでいて我慢できなくなりました。

* LiSAブログ <http://ochadailisa.blog32.fc2.com/>

・何かを始めるきっかけにしたい。

LiSA効果 参加した学生にとって

- ・ 不満は同時に、その状況の改善につながる最大のチャンスであり、よき出発点ともなりうることを改めて感じました。
- ・ 図書館の外の場で図書館についての希望や意見を聞く機会があると、相手と同じ利用者の立場で図書館について考えるだけでなく、図書館側の視点からどうしたらその希望を実現できるかという方向でも考えることができるようになりました。

LiSAの学生から提出された「業務報告書」からの抜粋

LiSA効果 サービスへの転換

- ・ 学生の目線を得ることができた。

ex. 出張講習
書架サイン選び



書架サインの案を
選ぶLiSA

図書館のサポーター

2006年4月 新入生オリエンテーションにて
「新入生のみなさんには、図書館のサポーターになっていただきたい。」

羽入佐和子前館長
(現在お茶の水女子大学長)の言葉

ファンではなく、サポーターを作るには?

LiSAプログラムの誕生

学生にとっても、
図書館にとってもLiSAが
図書館のサポーター
となっている。



図書館と学生をつなぐ



・ これからのLiSAの活動に取り入れられればいいなと思ったのが、「図書館のよさを学生の皆さんにもっともっと知ってもらおう」お仕事です。

・ 利用者でありかつ運営のお手伝いをさせて頂くLiSAがさらなる勉強を重ね、学生と図書館側の媒介者として友人との口コミ以外に出来ることがないか思索している。